

2019年台風19号被災 災害時の福祉施設の 事業継続と連携

賛育会豊野事業所

2023/05/29

長野県社会福祉協議会
福祉施設BCP策定アドバイザー
賛育会 元事務長・施設長
長野いのちの電話 事務局長 松村 隆

社会福祉法人賛育会

もくじ

1. 台風19号災害の概要 施設被害・利用者の状況
2. 100年に1度と1,000年に1度の水害の違い
3. 被災した地域の状況
4. 避難所の状況
5. 個別避難計画と福祉避難所
6. 入所事業再開と他施設連携
7. 在宅事業所の再開と施設間連携
8. 復旧費用と業務継続

社会福祉法人賛育会

1. 賛育会豊野事業所 施設の概要



ニュース映像より浸水後の事業所全体 10/13



災害発生 of 経過1

10/12(土) 氾濫前日

15:30 大雨特別警報 (長野県内初)

避難準備指示発令(高齢者等避難) 職員招集メール発信

16:30 グループホーム18名 特養1階22名 避難(垂直避難)

22:00 長野市より施設避難勧告発令

10/13(日) 0:20 同 避難指示発令

2:00頃 千曲川の穂保で堤防が欠損・決壊

5:15 停電(変電所の浸水により)

6:30 事業所前道路浸水始まる

8:30頃 床上浸水 2.4m (地面より3m強)

9:30 2階~3階への避難開始

病院棟 59名(介護医療院)特養棟 90名(特養)

11:00頃 長野市に救助要請

氾濫解消
浸水時間 24時間

災害発生 of 経過2

10/14(未明)DMAT 松浦医師(指揮者)来院

○ 入所者のトリアージ(赤・黄・緑)

5:30 水が引き、自衛隊、消防隊、DMATの到着

6:00 搬送開始 80名の予定が120名の搬送:受け入れ病院の増)

○ 病院以外の避難先の検討(ヒューマの協力)

10/15 搬送2日目 76名

10/16 搬送3日目 48名

10/22までに276名全員避難

病院21、施設37、計58カ所

(自宅、家族12名)

DMAT43 消防隊14 自衛隊2



避難先候補:障がい者施設の体育館

被災想定のおさ(正常化バイアス)



2019年 台風19号 千曲川氾濫
長野市 社会福祉法 人賛育会

・3階への垂直避難1日後の様子、
2階から3階へ階段で避難後

避難についての課題

□ 今回は(たまたま?)良く対応できた項目

- 避難前のDMATのスムーズなトリアージの実施
276名のトリアージが浸水した翌未明には完了(経験のあるDMAT隊の指示が得られた)
- 避難先病院の確保(合計157床、21病院)
DMAT・長野県を中心とした折衝で近隣21病院(長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市)に157床を確保いただいた(冬季間では空きベッド確保は難しく、この季節だからできたこと)
(長野市民病院400床が被災しなかったため、ベッドを提供いただけた)
- 避難先介護施設の確保
長野市の介護保険担当課の調整で35施設に当初97名が受け入れられ、医療機関に搬送された利用者も介護施設に入所となり、介護施設はさらに多くの入所者を受け入れていただいた。
- 水が一夜にして引いたため、ボート、ヘリ等を使う必要がなかった
ボートでは速やかな避難はできなかった。ヘリによる避難は要支援者には危険である(死者の出る可能性あり)
- 1日目の120名の避難後、残った利用者を施設に残すか、体育館などに避難させるかの検討時、災害人道医療支援会から助言をいただいた。
要支援者が停電している体育館などの避難所を使う場合のリスク、ADLの低下から想定されるリスクの指摘があり、現状の施設で待機することとした

2.100年に一度の水害

- A 賛育会豊野事業所
- B むらかみ整形外科
- C 笹井医院
- D タカミ歯科
- E 中村歯科クリニック
- F 中島薬局
- G 長沼薬局
(黒字は廃業)

最大浸水 4m



社会福祉法人賛育会

3.被災した地域

(水が引いて1週間)

- 道の両側に廃棄家財
(歩道がなければ道路上に積み上がり
車両が通行できないところも発生)
- 家財は電気製品、木製品、畳、金属製品等
に分けて集積場に持込が必要
(何処に誰が持っていくのか?)

